

第8回 市P連三行詩コンクール 佳作作品

賞	作品	学校名	学年	発表名
★ 児童・生徒の部 小学生 ★				
佳作	ねむくなったとき ママのかたのにおいはいいにおい しあわせになるんだよ	洋光台 第一小	1	のの
佳作	おねえちゃんがてんごくにいっちゃったけど、 そばにいてくれる。ずっとだいすき。	小田小	1	柴崎永圭
佳作	おとうとが ついこうまれた うれしいな	品濃小	1	佐藤麻由
佳作	かぞくはやさしいひと たいせつなひと ずっといっしょにいたい	桜岡小	1	富地康介
佳作	ともだちいると えがおだよ やささ ひろげて ともだちふやそう	不動丸小	1	田中明美
佳作	がっこうもたのしいけれど おうちにかえってくると ほっとするな	丸山台小	1	三浦匡暁
佳作	1さいのななちゃん だんぼーるにのせて、わたしがおすと、 おおわらい	西柴小	1	平山滯音
佳作	かえりみち またあすあえるね じゃああとで！	日限山小	1	加藤才彩
佳作	この前生まれたいもうとは、 わらってもないもねててもかわいい。 すぐにおこしておこられる。	東汲沢小	2	大坪伊織
佳作	ひとつだよ じぶんのいのち たいせつに	大綱小	2	村松七海
佳作	おこるとこわい わらうとやさしい そんなママが大すき	東戸塚小	2	高橋朋花
佳作	パパとママからもらったいのち 大事にしよう 未来のために	川和東小	2	東澄空
佳作	ほんとはにがてなトマトでも 自分でそだてたトマトなら食べれたよ トマトのいのちいただきます	南山田小	2	久保浦悠斗
佳作	家ぞくって、こまった時に、たすけあい、 ギューツて、だきしめるもの。	大綱小	2	すけちゃん
佳作	かぞくとね いっしょにいと ホッカホカ	二つ橋小	2	増木萌愛
佳作	かぞくがぜんいんそろうと ぼくのちからは パワーアップ	緑小	2	綿貫翔太
佳作	はやくともだちあいたいな いくつねたらあえるかな だけど、おわってほしくないぼくのなつやすみ。	東戸塚小	2	橋本 結

第8回 市P連三行詩コンクール 佳作作品

賞	作品	学校名	学年	発表名
佳作	あわずぞ、ちから たすけるぞなかま まってろ	神橋小	2	鈴木博翔
佳作	ぼくがくじけた時いつも元気にしてくれる 悠斗君がいるとほっとする ずっといてね 一番の友だち	山田小	2	古海奏多郎
佳作	あついで きょうもやっぱり くっついてねよう	戸塚小	2	橋本 侑
佳作	ひっこするのはさみしいけれど これからもずっと友だちだから さみしくないよ	南山田小	2	前田幹太
佳作	自分を、すてない。かぞくも、すてない。 みんないればかがやきバッチリ。	原小	2	りおたん
佳作	「だあいすき」 ぼくとお母さんとの合言葉 安心してしあわせになれるふしぎな力	東中田小	3	佐藤颯騎
佳作	かなしいとき 母のひざにちよこんとすわり ー安心	さちが丘小	3	今村みゆ
佳作	朝けんか かいり道には なかなかおり	二つ橋小	3	内野 月
佳作	生まれたことをよろこんで 明るくわらって生きぬけば 大切な命がかがやくよ	さちが丘小	3	佐藤美幸
佳作	いのちより だいじなものは ないんだよ	二俣川小	3	安西 翔
佳作	パンダねえちゃんとけんかして、 たぬきママにおこられて、 ライオンパパが味方した。 ぼくの家は動物園。	小机小	3	飯田 開
佳作	耳をたらしてよろこぶね しっぽをふってうれしいね 言葉がなくても気持ちが分かるよ 家族だから	丸山台小	3	佐藤心映
佳作	いのちはね、もってるだけで、すごいこと。	原小	3	長谷川暉
佳作	久しぶりの友だち あっという間にすぎた時間 また会いたい。	さちが丘小	3	林こうすけ
佳作	友だちとケンカをした。 今の思いをつたえ合い笑った。 だから友だち、いつまでも友だち。	間門小	3	運動大好き まかどっ子
佳作	何にでも 一つあるのが 小さな命	下野庭小	3	梅本祥乃
佳作	いのちはね 一番さいしょに 守るんだ	日限山小	3	白井文蘭

第8回 市P連三行詩コンクール 佳作作品

賞	作品	学校名	学年	発表名
佳作	お父さん、お母さん うんでくれてありがとう。 かわいがってくれてありがとう	日ぎり山小	3	おんせん まんじゅう2号
佳作	家族はね どんなことでも 話せるよ	三ツ境小	3	森光祥規
佳作	つらい時 思いうかぶのは 家族のえがお	品濃小	3	山田理子
佳作	わたしがなければ、おとうともなく、 ふたりそろっておんなじだ。	さちが丘小	3	リース
佳作	「ダメだよ」と ちゅういができる 大切さ	東中田小	3	花
佳作	さみしい時は、 家族とわらって 元気だす	下野庭小	3	原田結莉
佳作	命がなければ生きられない 小さな虫にも命がある みんな、みんな命がある	桜岡小	3	富地七菜
佳作	つなごう にぎろう さしだそう きずなを作る まほうの手	和泉小	4	くさのゆらら
佳作	一番の友達 一番の味方 一番の強てき これがお姉ちゃん	川上小	4	小林ひかり
佳作	命とは 親がさずけた 宝もの	汲沢小	4	古郡美聡
佳作	母の実家に一人でとり しずかな夜に思い出す 楽しい家族のわらい声	東山田小	4	雨宮寧子
佳作	怒ると鬼のような母なのに 怖いだけではないのはなぜ どんな時も僕は愛されているから	笹野台小	4	銀太
佳作	友達とは糸のような物だ けんかをして糸が切れても また結んでなか直りする それが友達	品濃小	4	服部真央子
佳作	毎日みんな笑ってる。 家族がいるから笑ってる。 笑えば幸せはやってくる。	東戸塚小	5	斉藤麻桜
佳作	ほっこりと笑うお友達 目が合うだけで笑い出す いつも笑顔なそこが好き	不動丸小	5	柴田有里奈
佳作	夏の太陽のようにキラキラと・・・ 家族にもらった大事な名前 みんなの願いがこもってる	品濃小	5	斉藤夏希
佳作	命の大切さ 生きてるって幸せ。泣ける怒れる笑える。 亡くなった人の分もぼくは生きている	小田小	5	とうふ

第8回 市P連三行詩コンクール 佳作作品

賞	作品	学校名	学年	発表名
佳作	楽しい時はいっしょに笑うよ。 悲しい時はいっしょに泣くよ。 だって友達だから。	笹野台小	5	筒井美結
佳作	夏休み 遊びに来た親友が声変わりして おどろいたボクより先に大人になるなよ	中川西小	5	菅原 翼
佳作	料理もそうじも洗たくも 何でもできるようになったけど お母さんにはかなわない 愛情と体重	川上小	6	小林羽衣
佳作	今日もわたしはまっすぐ生きていける お母さんがわたしを信じていてくれるから	川上小	6	小林羽衣
佳作	お父さん、お母さん 出会ってくれてありがとう おじいさん、おばあさん 出会ってくれてありがとう	日限山小	6	おんせんまんじゅー
佳作	母と最近ケンカしても 母はやさしくしてくれる 今なら言える「ありがとう」	神橋小	6	家族大好き
佳作	あたたかい 家族といると 笑顔咲く	丸山台小	6	桑原小百合
佳作	わたそう もらおう つなげよう 笑顔のバトン いつまでも	和泉小	6	苕野悠晴
佳作	母の胸 いろんなときに とびこむよ	神橋小	6	蟻川佑衣
佳作	大嫌い、勉強してよと、怒られてママなんか 大嫌い、でもね、ごほうびにぎゅっとしてね、 大好きだから。	篠原小	6	田口珊瑚
佳作	父が笑うとみんな笑う 悲しい顔で帰っても 家族で生まれる笑顔の連鎖	神橋小	6	エドワード ニューゲート
佳作	芽がでる 葉がでる 花が咲く 命ってすごい	神橋小	6	内藤嵩大
佳作	喧嘩して二秒で話しちゃう。 喧嘩して二秒で笑っちゃう。 喧嘩したことを忘ちゃう。 面白いね私達、友達は宝物。	小田小	6	ホワイトタイガー

第8回 市P連三行詩コンクール 佳作作品

賞	作品	学校名	学年	発表名
★ 児童・生徒の部 中学生 ★				
佳作	空を見上げ星がまたたく夜空に 亡き祖母の光一つきらめいて 思いをはせる今この夜。	茅ヶ崎中	2	形岡楓
佳作	母入院 父お弁当作り 美味しい母のお弁当に感謝 持たせてくれる父に感謝	鶴ヶ峯中	3	廣瀬貴帆
佳作	食後のおしゃべり ぼくの大好きな 家族との時間	上菅田 特別支援	3	岡田温人
佳作	部活動引退、僕の朝練のために早起きして、 お弁当を作る必要がもうなくなると、言っている母の眼には涙	樽町中	3	太田智也
佳作	愛犬と 家族が僕の 応援団	鶴ヶ峯中	3	紺碧の布
★ 一般の部 ★				
佳作	「ママと結婚したい。」 息子二人に取り合いになる私。 本気でやきもちお父さん	西寺尾第二小 保護者		たいちゃんママ
佳作	「ママ聞いて！」 一日分の頑張りが全部詰まったおやつ 笑顔も涙も共に味わい	品濃小保護者		齋藤由美子
佳作	「お母さんの子どもの頃の話聞かせて」 子ども達が聞きたいのは 母の成功談ではなく失敗談	川上小保護者		いくみん
佳作	「昇降口で待ってるね」って 家に帰れば会えるのに 弟が心配 お姉ちゃん 弟「コクリ」とうなずいた	汲沢小保護者		板橋千浪
佳作	大きくなったな 偉そうなことも言えるようになって じいじはそっと見ているよ はらはらどきどきしながらね	川上小保護者		まっちゃん じいじ
佳作	ケンカした朝 行きたくない日 勝負の時 何でもない日 いつでもあったよ 心の真ん中 母の手作りお弁当	山田小保護者		寺門由佳子
佳作	「おかさん、みみ。」いつも耳かきとセットだけど、 呼ばれてやっぱり嬉しいよ。母親になって10年目の初めての 「お母さん」だもの。	港南台ひの特別 支援保護者		浦島貴美子
佳作	離れて暮らすお父さん 同じ三日月見てるかな 空港に迎えに行くよ 満月のころ	矢向小保護者		もこ子
佳作	遠いけど もっと会いたい 黙ってても 近づき合える 旧姓の友	日限山小保護者		松浦典子
佳作	朝諭し 夜また諭し 朝が来る 親も子供も根比べ 気持ちをぶつけてくるけれど 成長と思えば嬉しいね	平戸小保護者		渡辺紗織

第8回 市P連三行詩コンクール 佳作作品

賞	作品	学校名	学年	発表名
佳作	見送る後姿に微笑み返し 今日も無事を祈りつつ お帰りなさいが待ち遠しい	仲尾台中保護者		指原信一
佳作	「このおうちにうまれてよかった」 きみが贈ってくれた 何よりのたからもの	丸山台小保護者		三浦美奈子
佳作	おいしかったよ 台所に置いた弁当箱 その一言が明日の元気	都岡小保護者		長倉幸恵
佳作	お笑い大臣 新発見大臣 やりくり大臣 励まし大臣 役者が揃う 家族内閣！	小菅ヶ谷小 保護者		心に太陽
佳作	「冷房つけなよ」「水飲みなよ」「行ってきまーす」 と、元気な孫の声。 優しい言葉に感謝です。	鶴ヶ峯中保護者		貴帆バアバ